

育英会だより

発行所
鯉 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田2丁目2番5号
光正ビル6階
電話 03 (3256) 1981
FAX 03 (3256) 1982
E-mail: mizuuro.ikuei@eos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動

第六十回 浅海増殖研究発表全国大会

去る六月八日、福岡県福岡市「都久志会館」にて『浅海増殖研究発表全国大会』(浅海増殖研究中央協議会・全国海苔貝類漁業協同組合連合会主催)が開催されました。会場には全国から約六百人の海苔生産者が集結し、六十回目の記念大会を盛り上げました。



当日、本会においては、漁船海難遺児福岡県協議会の皆さま(JF福岡ぎょれん・JF福岡有明海漁連・JF共連福岡支店・福岡県水産団体指導協議会各職員のかたがた)とともに、会館入口並びに展示会会場で募金活動を行い、来場された多くの皆さまより温かいご支援を賜りました。大会主催者はじめ、ご協力いただきました

お知らせ

ゆび募金(募金型自動販売機)による
2010年4月末までの寄付金累計額は
205,820円です。
ご協力ありがとうございました。

※ゆび募金に関するお問い合わせは事務局まで



皆さまに心より御礼申し上げます。

第30回 全国豊かな海づくり大会

六月十二・十三日の両日、『全国豊かな海づくり大会』が、日本列島の中心地・岐阜県にて盛大に執り行われました。

この大会は、水産資源の維持増養と海の自然環境保全の必要性を広く国民に訴えることを目的として、一九八一年から毎年開催されてきましたが、三十回目の節目を迎えた今年、会場となったのは海ではなく河川の長良川。豊かな海づくりは豊かな森林・河川づくりから始まるとの考えのもと、「清流が つなぐ未来の 海づくり」

を大会テーマに、県内各地でさまざまな催しや活動が行われました。

十三日に関市文化会館にて開催された式典には、天皇・皇后両陛下をお迎えし、地元の子供たちによる舞踊や合唱、功績団体や「森・川・海」をテーマに募集された作文等優秀作品受賞者の表彰などが行われました。また、推進委員会会長の服部都弘JF全漁連会長により大会決議が読み上げられ、満場一致で採択されました。

午後からは長良川河畔に舞台を移し、宮内庁式部職として小瀬鵜飼の鵜匠たちが守り続けてきた伝統の鵜飼漁が披露されました。続いて、和太鼓の演奏に合わせ回遊旗を掲げた九隻の船が登場し、両陛下の来訪を歓迎しました。最後に、アユやアジメドジョウなどが両陛下から長良川に放たれ、自然への感謝と誓いを込めた参加者全員によるカスタネットの合奏とともに大会は幕を閉じました。

本会においては、今年も式典会場にて、日本ボイススカウト岐阜県連盟 関第一団の皆さん(指導者・スカウト計二十二名)と「水色の羽根募金運動」を行いました。式典が開会するまでの約二時間、子供たちの懸命な呼び掛けに、来場された約千数百人ものかたがたから多くのご支援を賜ることができました。

大会主催者をはじめ、ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

なお、次回、第三十一回大会は、来年の秋に鳥取県で行われます。



(写真提供 岐阜県)



▲中央の3人、左から黒木さん、千葉さん、仲道さん

JF全漁連新入職員が寄付

六月十九日、東京都千代田区本会事務所にて、JF全漁連新入職員の方より育英資金が寄付されました。

この寄付金は、本年度採用された購買事業部石油第二課の黒木研次さん、千葉佳澄さん、信用・組織指導部の仲道彩乃さんの三名が、新人研修の一環として、ぜひよれん食品(株)塩釜食品工場から加工・内部販売した商品の売り上げ金の一部を頂いたものです。

当日、来会された三名より「海難遺児のために役立ててください」との言葉とともに寄付金を受け取った佐藤信三本会専務理事は、「皆さんから頂いた貴重なお金は海難遺児のために有効に使わせていただきます」と感謝を述べるとともに、組織の先輩として「二日も早く仕事に慣れ、水産業のために力を尽くしてください」とエールを贈りました。

二〇一〇年度 第一回奨学生選考委員会

五月十一日、本会議室において「二〇一〇年度第一回奨学生選考委員会」が開催され、「第一回奨学生出願者(四月二十五日締切り)の選考」について審議されました。この結果、学資給与奨学生として、幼児二人、中学生一人、高校生等二人、また、奨学金貸与奨学生として大学生等八人、合計十三人の採用が決定しました。

なお、前年度からの継続奨学生と併せて、新規奨学生を加えた六月十五日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」のとおりです。

二〇一〇年度 第一回評議員会・理事会開催

五月二十日、「二〇一〇年度第一回評議員会および理事会」が東京・千代田区のコープビルで開催されました。会議では二〇〇九年度の事業報告および収支決算、ならびに新公益法人制度への対応について審議を行い、原案のとおり承認されました。また、評議員会では、辞任に伴う理事の補欠選任を行い、新たに長屋信博氏(JF全漁連常務理事)が選任されました。今回辞任された方には、これまでのご尽力に改めて感謝申し上げます。

また、理事会の冒頭、鈴木俊一理事長が開会の挨拶に立ち、育英事業を日ごろご支援いただいているかたがたに感謝の意を表した上で、「二〇〇九年度の重大海難事

グラフ1 募金活動支出の主な内訳

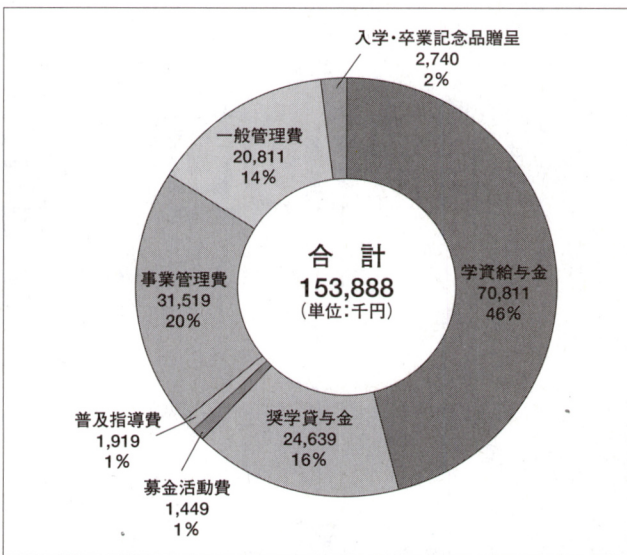


表1 学資給与事業の実績

(単位:千円、人)				
学 区	月額給与金	入学記念品	卒業記念品	年度末人数
幼 児	1,680	-	-	14
小学生	13,013	490	-	87
中学生	20,448	1,000	-	71
高校生等	35,670	1,250	-	98
合 計	70,811	2,740	-	270

注:入学記念品は小・中・高等学校等入学時、卒業記念品は中学校卒業時(就業する者を対象)に贈呈。

表2 奨学金貸与事業の実績

(単位:千円、人)			
学 区	月額貸与金	入学一時金	年度末人数
高校生等	18	-	1
大学生等	20,300	4,300	34
合 計	20,318	4,300	35

注:高校生等貸与奨学生の採用は2008年度をもって廃止している。

表3 学資給与事業金額表

(単位:円)			
学 区	月額給与金	入学記念品	卒業記念品
幼 児	12,000	-	-
小学生	13,000	70,000	-
中学生	24,000	50,000	70,000
高校生等	30,000	50,000	-

表4 奨学金貸与事業金額表

(単位:円)		
学 区	月額貸与金	入学一時金
大学生等	50,000	500,000以内

漁船海難遺児と母の文集 原稿応募期間延長のお知らせ

本会設立40周年を記念し作成されます「漁船海難遺児と母の文集」第8集の掲載作品を昨年7月より募集して参りましたが、残念ながら応募数が少なく、文集の刊行が厳しい状況にございます。そこで、応募期間をもう少しの間延長させていただきますことになりました。皆さま、お忙しいことと思いますが、ぜひともこの機会にご協力いただきますようお願い申し上げます。

題 材/作文・詩歌・イラストともに自由

◆家庭の近況や学校生活等身近な内容でも結構です。

例)「事故防止を願って」「お父さんの思い出」「将来の夢」「寄付者の皆さまへ」

◆イラストは挿し絵として使用致します。アニメなどキャラクターの絵は著作権等の問題によりご遠慮願います。

応募内容/作文・詩歌:原稿用紙(400字詰め)2~4枚程度

イラスト:ハガキ~A4サイズ大のもの

◆作文・詩歌は手持ちの原稿用紙をご利用いただくか、専用の応募用紙をお送り致しますので本会までご連絡ください。

◆作品には氏名・住所・標題の他、在学は学年を必ず記入してください。

締 切/2010年 8月13日 本会必着

刊行予定/2010年10月29日

【お問い合わせ先】

財団法人 漁船海難遺児育英会

〒101-0047 東京都千代田区2-2-5 光正ビル6階

T E L : 03-3256-1981 (平日9~17時) / F A X : 03-3256-1982 (24時間)

E-mail : mizuho.iku@eos.ocn.ne.jp

*ご応募いただいた方全員に文集と記念品を贈呈致します。

奨学生からのお便り

＊第一志望校に、一般入試の前期で合格となりました。試験後はダメかと思われましたが、合格がわかった時には本当にうれしく、飛び上がって喜びました。

(青森県 大一 小清水)

＊無事、卒業し、国家試験も合格することができました。ありがとうございました。三月末より就職しまして、現在は早く仕事に慣れるように頑張っています。

(兵庫県 専卒 笹本)

＊無事に高校を卒業できました。八年間ありがとうございました。

(長崎県 高卒 濱川)

＊無事、卒業することができ、就職も、おかげさまで長女は保育士、



選手のコメントで「岡とゴールするって約束してたから」でした。あのゴール前の状況で仲間との約束を忘れず、しかも絶妙なパスを出せる精神力・判断力・男つぷりに私のハートはトキメキまくりでした。

FIFAワールドカップ南アフリカ大会が終わってしまいました。私はにわかサッカーファンですが、今回のワールドカップの試合はたくさんさんのさまざまな感動を与えてくれ、素人の私でも感じるくらいに毎試合ごと選手たちが強くなっている(絆も)のが伝わってきて、負けてしまった事はとても悔しいですが、気持ちよく参加(鑑賞)できた大会でした。特に私が感動したのは日本対デンマーク戦で、本田選手から岡崎選手へパスからのゴールが決まった本田



職も決まりました。これからが大変だと思えますが、頑張っていきたいと思えます。本当にありがとうございます。

(沖縄県 専卒 宜保)

保護者からのお便り

＊子供が幼稚園の時から、学資給与金を送金いただき本当にありがとうございました。四月より、妹は大学進学も決まり、兄は就職が決まりました。新しく一歩を踏み出します。

(宮城県 小山)

＊平成六年に夫と死別してから十五年間、本当にお世話になりました。当時、二歳と六歳だった娘たちも、おかげさまで長女は保育士、

募金(寄付)のお願い

本会の育英資金は、多くのかたがたから寄せられた善意の寄付金で基金をつくり、その運用益で賄っております。基金は未だ十分とはいえないため、さらなるご協力をお願いしております。

＜送金方法＞

郵便局及び本会の指定する金融機関にお振込の際、本会の振込用紙をご利用いただければ、振込手数料は免除になります。ご連絡くださればお送り致します。

＜郵便振替口座＞

口座番号：00150-7-131175
口座名義：財団法人 漁船海難遺児育英会

また、大学等奨学生に貸与する奨学金をある一定期間、定期的にご支援いただく「励ましおじさん・おばさん」のご加入も随時受け付けております。ご希望の方はお問い合わせください。

※寄付金の税法上の優遇措置について

本会は、法人税法上および所得税法上の「特定公益増進法人」の扱いを受け、本会に対する寄付金は、法人では法人税法上一定額の損金算入が認められ、個人では所得税法上の所得控除が認められます。

本会が「特定公益増進法人」であることの証明書は、寄付金領収証に添えてお渡します。確定申告の際、所轄の税務署へご提出ください。

また、相続または遺贈からの寄付金は、租税特別措置法により課税対象からの控除が認められます。

募金箱設置団体募集

漁船海難遺児を励ます全国協議会のご協力により、間伐材を使用して作成された「海に優しい募金箱」(縦16cm×横20cm×幅9cm/右下写真)を設置していただける団体を募集しております。ご希望の団体はお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

〒101-0047
東京都内神田2-2-5 光正ビル6階
財団法人 漁船海難遺児育英会
TEL: 03-3256-1981 (9~17時受付)
FAX: 03-3256-1982 (24時間受付)
E-mail: mizuiro.ikuei@eos.ocn.ne.jp



寄付者からのお便り

＊夏休み中は、いろいろと学ぶことをたくさん吸収してくださいね。

(長崎県 濱口)

＊この春、二男が無事に高校を卒業しました。本当に、寄付者の皆さま方、育英会のかたがたには、感謝の気持ちでいっぱいです。子供たち二人は国立大学に合格し、夢いっぱい勉強に励んでおりま

(埼玉県 松本)

＊梅雨の季節。うつとうしくても、いろいろ花々の楽しみが。このごろ、ふと体力が?と思う時も:無理せず、遺児たちのためにも頑張ろうと。

(千葉県 福田)

育英基金

『募金・ご寄付』のお礼

二〇一〇年三月から五月までに
ご寄付を頂いた皆さまのご芳名を
掲げ、厚くお礼申し上げます。

※ご芳名(敬称略)

(新潟県 小山)

＊息子は薬剤師を目指し、県外の大学へ進学致しました。これも今までの育英会様からのご支援のおかげでございます。大変ありがとうございました。私は、昨年末からダブルワークで頑張っております。体を壊しては何もならないので、無理し過ぎないように頑張っていきたいと思っております。

(宮城県 渡辺)

二女は大学生と何とかな並みに成長しました。これまで支援していただいた奨学金は本人たちのために有意義に利用させてもらいました。二人には感謝の気持ちを忘れることなく、社会に貢献する大人になってほしいと願って止みません。

(愛媛県 岡崎)

＊突然の事故で、どうなることかと不安でいっぱいでしたが、おかげさまで何とか一年が過ぎ、子供も無事、高校に進学する事ができました。ありがとうございました。

(福岡県 佐藤)

＊いつもお世話になり、ありがとうございます。おかげさまで、上の子供も無事高校を卒業する事ができました。八年間ありがとうございました。

(長崎県 濱川)

＊奨学金の送金、いつもありがとうございました。二人の子供たちも毎日元気に学校へ行っております。

(大分県 上野)

＊いつもありがとうございます。長女も結婚して、子供も二人できました。いつも感謝の気持ちでいっぱいです。

(大分県 矢内)

一、漁協系統募金 (各都道府県の漁連、信漁連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会 (略称・地方協)」等で取り扱った分で、一般寄付を含みます。)

〔三月〕◎北海道▽横内サタ子▽

地方協◎岩手県▽釜石市水産課▽

釜石地方振興局水産部▽釜石湾漁

協青年部▽岩水会盛岡支部▽岩泉

町役場▽久慈地区密漁防止対策協

議会▽久慈地方振興局水産部▽久

慈東高等学校 P.T.A.▽宮古市役所

水産課▽宮古地区特別支援教育研

究会▽宮古地方振興局水産部▽漁

業共済組合▽漁業取締事務所▽漁

業信用基金協会▽漁船保険組合▽

九戸地区養殖わかめ対策協議会▽

広田半島大漁祭り実行委員会▽栽

培漁業協会▽山田町役場▽寺澤

泰樹▽秋さけ消費拡大推進協議会

▽共水連岩手支店▽大船渡市役所

▽大船渡地方振興局水産部▽大槌

町漁協魚市場仲買人／鮭まつり実

行委員会▽大槌町役場▽田野畑村

役場農林水産課▽田老観光イベン

ト実行委員会▽農林水産部水産振

興課▽普代村役場▽陸前高田市水

産業祭り実行委員会▽地方協◎宮

城県▽漁協女性部連絡協議会◎山

形県▽地方協◎東京都▽全国漁協

女性部連絡協議会◎神奈川県▽地

方協◎新潟県▽地方協◎静岡県▽

水産技術研究所伊東分場 O.B.会▽

地方協◎福井県▽天森伸一▽漁協

女性部連絡協議会▽地方協◎三重

県▽長井和子▽鳥羽商船高等専門

学校▽尾鷲海上保安部◎京都府▽

地方協◎山口県▽地方協◎愛媛県

▽青年漁業者連絡協議会▽地方協

◎長崎県▽九州水産振興開発協議

会▽笹山ハツ子▽長崎大学鴻洋祭

実行委員会▽野母崎いせえび祭り

実行委員会▽地方協◎鹿児島県▽

サカシタクニハル▽鹿児島まぐろ
船主協会▽鹿児島まぐろ同友会▽
かん水養魚協会▽富ヶ原義幸▽北
さつま漁協長島支所青壮年部▽地
方協◎沖縄県▽漁船保険組合▽地
方協

〔四月〕◎北海道▽釧路地区漁業

協同組合女性部連絡協議会◎千葉

県▽漁業信用基金協会▽漁船保険

組合▽財千葉県漁業振興基金▽財

千葉県漁港漁場協会▽水産加工工

業協同組合連合会▽共水連千葉県事

務所▽地方協◎静岡県▽富士丸を

懐かしむ会▽地方協◎大阪府▽地

方協◎広島県▽地方協◎山口県▽

田畑弘志▽漁協青壮年部連合会◎

佐賀県▽佐賀県有明海漁協青年部

〔五月〕◎静岡県▽株赤阪鐵工所

―創業一〇〇周年にあたり◎長崎

県▽竹内利弘▽地方協◎大分県▽

佐伯市役所▽水産関係親睦ゴルフ

コンペ

二、一般寄付

〔三月〕◎青森県▽大山チセ◎岩

手県▽森治孝／えみ子◎宮城県▽

仙台漁業調整事務所「碧波会」◎

埼玉県▽小野沢通▽富元克昌◎千

葉県▽飯村久子◎東京都▽ツジア

キヒコ▽ニチレイふれあい基金▽

梶浦富子▽漁船保険中央会▽三水

会▽社全国底曳網漁業連合会▽全

国海友婦人会下関支部支部長遠藤

澄子全日海中央執行委員会企画室

經由◎静岡県▽焼津水産高等学校

◎山梨県▽佐藤一江◎京都府▽第

八管区海上保安本部▽中上清吾◎

兵庫県▽第五管区海上保安本部◎

奈良県▽株南都水産◎鳥取県▽浜

野茂夫◎長崎県▽野村俊郎―香典

返し◎鹿児島県▽富元小松

〔四月〕◎岩手県▽佐々木強◎茨

城県▽株石田丸漁業代表取締役石

田洋一◎埼玉県▽小野沢通▽富元

克昌◎千葉県▽佐原芳隆▽飯村久
子◎東京都▽梶浦富子▽株久能木
コーポレーション◎富山県▽布目
久幸◎京都府▽中上清吾◎鳥取県
▽浜野茂夫◎山口県▽株奥野寿久
商店◎鹿児島県▽富元小松▽南入
枝海事務所代表取締役入枝伸親

小松
追悼
六月四日、神奈川県横須賀市観
音崎公園内「戦没船員の碑」にて
『第四十回戦没・殉職船員追悼式』
(財)日本殉職船員顕彰会主催)が
行われ、本会を代表し、大野事務
局長が参列致しました。また、六
月十一日には、『第三十五回兵庫
県漁民物故者合同供養祭』(J.F
兵庫漁連主催)が和歌山県高野山
「兵庫県漁民物故者合同慰霊塔」

で行われ、佐藤専務理事が代表と
して参列致しました。
物故者の皆さまにおかれまして
は、心よりご冥福をお祈り申し上
げます。

編集後記

くさん作ってくださいね。もちろ
ん、宿題も忘れずに仕上げましよ
う!▼七月三十日から八月一日ま
での三日間、「信州八ヶ岳ふれあ
い旅行」を開催致します。ご参加
いただく奨学生ならびに保護者の
皆さまと過ごす貴重な時間をスタ
ッフ一同楽しみにしております♪
あとは、お天気が悪くならないこ
とを祈るばかり!なお、この様子
は次号でご紹介させていただきます
予定です。
(M)

都道府県別奨学生数

(2010年6月15日現在)

都道府県名	給 与 奨 学 生					貸与奨学生	合計	2010年度第1回採用者					合計
	幼児	小学生	中学生	高校生等	小計	大学生等		幼 児	小学生	中学生	高校生等	大学生等	
北 海 道	3	8	12	25	48	4	52	1			1	3	5
青 森		2	5	3	10	1	11					1	1
岩 手		3	2	4	9	3	12						
宮 城		7	5	8	20	1	21						
秋 田													
山 形			1		1		1						
福 島	1	5	2	2	10		10		1				1
茨 城				1	1		1						
千 葉		5	1	5	11	1	12					1	1
東 京			2	1	3	2	5						
神 奈 川													
新 潟		2		1	3		3						
富 山													
石 川		3	1		4		4						
静 岡			2	2	4	1	5						
愛 知													
福 井			2	1	3		3						
三 重													
京 都			1		1		1						
大 阪				2	2		2						
兵 庫		2	4	2	8	1	9					1	1
和 歌 山													
鳥 取		1		1	2		2						
島 根			1	5	6		6						
岡 山		1	1		2		2						
広 島		1		1	2		2						
山 口		1	3	2	6	1	7					1	1
徳 島			1	4	5	1	6						
香 川		1	2	1	4	2	6						
愛 媛		2	3	6	11		11						
高 知				6	6	2	8						
福 岡		1	2	1	4		4						
福岡有明海		3			3								
佐 賀 玄 海		5			5								
佐賀有明海				1	1		1						
長 崎	1	6	4	6	17	1	18						
大 分		1	1	1	3		3						
熊 本	2	2		2	6	1	7					1	1
宮 崎		3	2	2	7	2	9						
鹿 児 島	1	6	3	1	11		11	1					1
沖 縄		2	3	3	8	2	10				1		1
合 計	8	73	66	100	247	26	273	2	1		2	8	13

*給与奨学生の高校生等には特別支援学生を含む。
*貸与奨学生には入学一時金のみ奨学生を含む。
*休学中の奨学生は人数に含まない。
*2010年度第1回採用者は内数である。